



2026 年 10 月 29 日

各 位

上場会社名 バリューコマース株式会社

代表者 代表取締役社長 最高経営責任者 香川 仁
(コード番号 2491)

問合せ先責任者 取締役 最高財務責任者 遠藤 雅知
(TEL 03-5210-6688)

会社分割(簡易吸収分割)による当社ホテル管理システム(PMS)に係る事業の xxx(エイジィ)株式会社への承継に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2027 年1月1日(予定)を効力発生日として、当社のトラベルテック事業のうち、「DYNA PMS(ダイナ ピーエムエス)」の名称で提供するホテル管理システム(PMS)に係る事業(以下「本事業」という。)を、xxx 株式会社(以下「エイジィ」という。)に会社分割(簡易吸収分割)により承継させること(以下「本吸収分割」という。)を決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 本吸収分割の目的

当社は、宿泊施設における予約・フロント・精算等の業務を一元管理し、省力化と顧客満足度向上を両立するホテル管理システム「DYNA PMS」を提供しております。当社は、2019 年9月にダイナテック株式会社(以下、「ダイナテック」という。)を子会社化し、宿泊施設向け事業を開始しました。その後、経営資源の効率的な活用及び意思決定の迅速化を目的として、2025 年4月1日付で同社を吸収合併し、本事業を承継しております。

今般、当社の事業ポートフォリオ及び経営資源の配分について検討した結果、事業の選択と集中の観点から、本事業をエイジィに承継させることが、当該事業のさらなる発展及び当社の企業価値向上に資すると判断し、本吸収分割を決定いたしました。

エイジィは、宿泊施設向けのホテル管理システム(PMS)やチェックインシステム等の SaaS 型サービスを展開しており、同社が宿泊 SaaS 事業で培ってきた事業基盤やノウハウを活用することで、「DYNA PMS」の顧客に対する安定的なサービス提供と、さらなるサービス価値の向上が期待できるものと考えております。

なお、当社のトラベルテック事業のうち、「DYNA IBE(ダイナ アイビーイー)」の名称で提供する宿泊予約システムに係る事業については、引き続き当社において継続いたします。今後も、収益力の強化を通じて企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

2. 本吸収分割の要旨

(1) 本吸収分割の日程

取締役会決議日	2026 年 10 月 29 日
吸収分割契約締結日	2026 年 10 月 30 日(予定)
効力発生日	2027 年1月1日(予定)

(注) 当社(分割会社)においては、会社法第 784 条第2項に定める簡易分割に該当するため、株主総会の承認決議を経ずに分割を行う予定です。

(2) 本吸収分割の方式

当社を分割会社とし、エイジィを承継会社とする簡易吸収分割です。

(3) 本吸収分割に係る割当ての内容

エイジィは当社に対し、本吸収分割の対価として金1円を交付する予定です。

(4) 本吸収分割に係る新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本吸収分割により増減する資本金

本吸収分割による当社の資本金の増減はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

承継会社のエイジィは、本吸収分割により本事業に関する資産、負債、契約上の地位、その他の権利義務について、吸収分割契約書に定めるものを承継します。また、従業員に係る労働契約その他雇用上の権利義務を承継します。

(7) 債務履行の見込み

本吸収分割において、エイジィ及び当社の財務状況、本吸収分割により承継する資産及び負債の状況並びに本吸収分割後に見込まれる収益状況等を勘案した結果、効力発生日以降のエイジィ及び当社が負担すべき債務について、その履行の見込みに問題はないものと判断しております。

3. 本吸収分割に係る割当ての内容の根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

当社は、エイジィから提示された条件をもとに、本事業が足元で赤字で推移していること及び今後の見通し、当社が本事業を継続する場合に必要な追加投資及び運営費用、エイジィが承継する顧客に対するサービス提供義務等を総合的に勘案し、エイジィとの間で協議・交渉を重ねた結果、本吸収分割の対価を金1円とすることが妥当であると判断いたしました。

また、当社は本吸収分割後に本事業の運営に関与する予定がないことから、エイジィの株式ではなく金銭を対価としております。

(2) 算定に関する事項

当社は、本吸収分割の規模及び本事業の損益状況等を勘案し、算定機関から算定書は取得しておりません。

(3) 上場廃止となる見込み及びその事由

該当事項はありません。

(4) 公正性を担保するための措置

該当事項はありません。

(5) 利益相反を回避するための措置

該当事項はありません。

4. 本吸収分割の当事会社の概要

	分割会社	承継会社				
(1) 名 称	バリューコマース株式会社	xxx(エイジィ)株式会社				
(2) 所 在 地	東京都港区芝二丁目7番 17 号	東京都渋谷区渋谷一丁目3番 15 号				
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 香川 仁	代表取締役 高田 圭				
(4) 事 業 内 容	コマース事業及び旅行事業領域における集客・販売促進支援とデジタルトランスフォーメーションの推進	宿泊 SaaS、不動産・リノベーション、LGBT 婚活				
(5) 資 本 金	1,728 百万円 (2026 年9月 30 日現在)	50 百万円 (2026 年7月 31 日現在)				
(6) 設 立 年 月 日	1996 年3月 12 日	2015 年8月3日				
(7) 発 行 済 株 式 数	34,471,000 株	500,000 株				
(8) 決 算 期	12 月 31 日	7 月 31 日				
(9) 従 業 員 数	(単体)329 人 (2026 年9月 30 日現在)	(単体)55 人 (2026 年9月 30 日現在)				
(10) 主 要 取 引 先	LINE ヤフー株式会社	株式会社呉竹荘、グローリー株式会社、株式会社ジューテック				
(11) 主 要 取 引 銀 行	三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行、みずほ銀行	りそな銀行				
(12) 大株主及び持株比率	<table><tr><td>PERSHING-DIV.OF DLJ SECS.CORP.</td><td>16.21%</td></tr><tr><td>日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)</td><td>6.06%</td></tr></table>	PERSHING-DIV.OF DLJ SECS.CORP.	16.21%	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6.06%	高田 圭 100% (2026 年7月 31 日現在)
PERSHING-DIV.OF DLJ SECS.CORP.	16.21%					
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6.06%					

	株式会社 Bold Investment	1.48%	
	DAIWA CM SINGAPORE LTD (TRUST A/C)	1.17%	
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 510371	0.96%	
	BNP PARIBAS NEW YORK BRANCH FOR TREATY	0.95%	
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505044	0.92%	
	日本証券金融株式会社	0.68%	
	INTERACTIVE BROKERS LLC	0.63%	
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	0.57%	
	(2026 年6月 30 日現在)		

(13) 当事会社間の関係

資 本 関 係	該当事項はありません。
人 的 関 係	該当事項はありません。
取 引 関 係	該当事項はありません。
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。

(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	当社(単体)			エイジィ(単体)		
	2023 年 12 月期	2024 年 12 月期	2025 年 12 月期	2024 年 7月期	2025 年 7月期	2026 年 7月期
純 資 産	22,615	13,086	12,181	1,133	1,483	1,949
総 資 産	28,201	19,474	16,142	1,327	1,814	2,484
1 株 当 たり 純 資 産 (円)	699.37	604.14	561.96	2,266	2,966	3,898
売 上 高	28,123	29,152	23,803	1,227	1,456	1,834
営 業 利 益	5,140	4,133	1,976	344	528	828
経 常 利 益	5,174	4,194	1,882	352	536	845

当 期 純 利 益	3,519	2,929	262	234	349	466
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	108.84	116.16	12.11	468	698	932
1 株 当 たり 配 当 金 (円)	53.00	57.00	49.00	-	-	-

(単位:百万円。特記しているものを除く。)

(注) 当社は 2026 年 12 月期第1四半期より非連結決算に移行しているため、当社については個別の数値を記載しております。

5. 分割する事業部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

本吸収分割により承継する事業は、当社が「DYNA PMS」の名称で提供するホテル管理システム(PMS)に係る事業です。

(2) 分割する部門の経営成績

売上高 739 百万円(2025 年 12 月期)

(注) 本事業の売上高は、2025 年1月から3月までのダイナテックにおける売上高と、同年4月1日付の吸収合併後の当社における売上高を合算しております。2025 年 12 月期の営業利益は算定しておりませんが、当社への吸収合併後、本事業は赤字で推移しており、2026 年1月から9月までの営業損失は 92 百万円です。

(3) 分割する資産、負債の項目及び帳簿価額

資産		負債	
流動資産	29 百万円	流動負債	9百万円

(注) 分割する資産・負債の金額は、2026 年9月 30 日現在の帳簿価額を基準として算出しております。実際に承継する資産及び負債の金額は、上記金額に効力発生日までの増減を加除したうえで確定します。

6. 本吸収分割後の状況

本吸収分割による当社の商号、本店所在地、代表者、事業内容、資本金及び決算期の変更はありません。なお、本吸収分割後の当社の純資産及び総資産の額は、現時点では確定していません。

また、承継会社であるエイジィの名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期は、上記「4. 本吸収分割の当事会社の概要」に記載のとおりであり、本吸収分割による変更はありません。

7. 会計処理の概要

本吸収分割は、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号)に基づき処理する予定です。

8. 今後の見通し

本吸収分割に伴い、2026 年9月 30 日現在の帳簿価額を基準として算定した場合、効力発生日に約 20 百万円の特別損失を計上する見込みです。なお、実際の計上額は、効力発生日までの承継資産及び負債の増減等を反映して確定します。

また、本吸収分割後の円滑な事業移行及びサービス提供の継続に向けて必要な対応については、今後、エイジィと協議の上進めてまいります。

以 上

(参考) 当期業績予想(2026 年 10 月 29 日公表分) 及び前期連結実績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
当期業績予想 (2026 年 12 月期)	11,000	△1,000	△1,000	△900
前期実績 (2025 年 12 月期)	23,803	1,976	1,882	262

(注) 当社は 2026 年 12 月期第1四半期より非連結決算に移行しているため、当期業績予想及び前期実績はいずれも個別の数値を記載しております。